

# 研究協力のお願ひ

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

くるみアレルギーに対する舌下・経口併用免疫療法の有効性・安全性の検討
<b>1. 研究の対象および研究対象期間</b> 2019年6月から2022年6月までに当院でくるみに対する免疫療法を実施した方
<b>2. 研究目的・方法</b> くるみアレルギーは近年増加傾向で、アナフィラキシーの原因食物として頻度が高いことが知られています。食物アレルギーに対する経口免疫療法は重症アレルギーの治療として注目されていますが、治療中の症状出現が多く、安全性の問題があります。一方、舌下免疫療法は全身性の反応が出現しづらく、経口免疫療法と比較して有害事象が少ない可能性があり、当院ではこれらを併用した免疫療法を実施しています。実際に行っている治療の有効性、安全性を明らかにするために、過去に負荷試験を実施した患者さんの診療録を検討します。症例の収集・解析は昭和大学病院小児科学講座が担当します。 <b>研究期間</b> 昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会にて審査後、委員会から発行される結果通知書の承認日より、研究機関の長の研究実施許可を得てから2024年3月31日まで
<b>3. 研究に用いる試料・情報の種類</b> 情報：患者背景（年齢・性別・アレルギー疾患合併）、免疫療法後の耐性獲得率、有害事象の有無（症状発現頻度、アドレナリン使用など） 試料：なし
<b>4. お問い合わせ先</b> 本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学病院（医学部小児科学講座）

研究責任者：本多 愛子

住所：142-8555 東京都品川区旗の台 1-5-8

電話番号：03-3784-8565